

豊橋出身石川監督「蜜蜂と遠雷」上映

豊橋市出身の石川慶監督が手掛けた映画「蜜蜂と遠雷」の上映が22日夜、同市西小田原町の穂の国とよはし芸術劇場プラットであった。町を活気づけようと、市民有志が運営する「とよはしまちなかスロータウン映画祭」の一環。上映後には出演した俳優平田満さん(66)＝同市出身＝によるトークショーもあり、詰め掛けた約250人が作品の世界観をたっぷり楽しんだ。
(昆野夏子)

平田満さん秘話語る

映画は、直木賞と本屋大賞をダブル受賞した恩田陸さんの同名小説が原作。国際ピアノコンクールを舞台に、若手ピアニストたちの戦いや葛藤、成長を描いた作品で、松岡茉優さんや坂桃李さんらが出演した。



平田さんは、コンクールの進行を担うステージマネジャー役を演じた。

平田さんは、石川監督の時習館高校ラグビー部の先輩。トークショーでは、石川監督から出演のオフアールを受け「今までにない、すごい日本映画になると期待したので、台本を読む前に出演を快諾した」と明かした。撮影では何度も撮り直しをして過酷なシーンもあったというが、「石川監督は出演者やスタッフとどことん話し合いながら丁寧に映画を撮っていくので、今回も良い作品になった」と話した。

十八回目を迎えたスロータウン映画祭については「情熱がないとこんなには続けられない。これからもずっと続けてほしい」と期待を寄せた。

出演作品のポスターを背に、作品や石川監督への思いを語る平田さん(右)＝豊橋市西小田原町の穂の国とよはし芸術劇場プラットで